

厳しい経済環境のなかでも、資産・財務内容において、引き続きトップレベルの健全性を堅持しています。

ソルベンシー・マージン比率

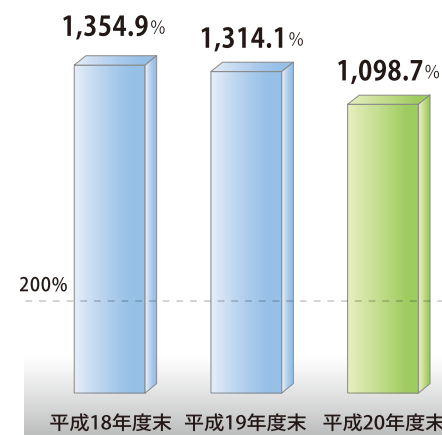
1,098.7%

**予測を超えたリスクにも対応できる
支払余力を確保しています。**

ソルベンシー・マージン比率とは、大災害や株価の暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。この数値が200%を下回った場合は、監督当局による業務改善命令等の対象となります。

平成20年度末のソルベンシー・マージン比率は、1,098.7%と1,000%を超える水準となっています。

ソルベンシー・マージン比率の推移



含み損益（一般勘定資産全体）

9,812億円

**堅実な資産内容で
約1兆円の含み益を
確保しています。**

含み損益とは、保有している資産の時価と帳簿価額（取得価額）との差額を指し、保険会社の企業体力を表わすものの一つです。

平成20年度末は、一般勘定資産全体で9,812億円の含み益を確保しています。

各資産における含み損益の状況は次のとおりです。
(平成20年度末)

公社債	株式
2,562億円	3,450億円
外国証券	土地※1
△598億円	4,550億円
その他※2	
△151億円	

※1 土地には借地権を含めています。

※2 その他は、買入金銭債権・デリバティブ取引等です。

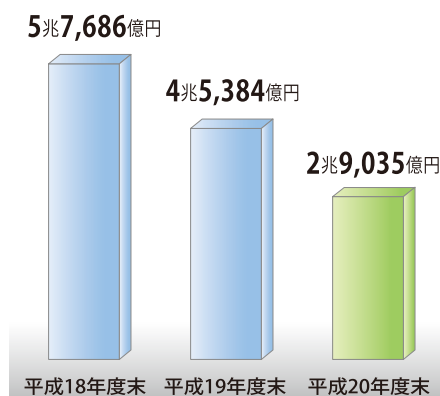
実質純資産額

2兆9,035億円

**健全な経営を維持していくための
純資産額を備えています。**

実質純資産額とは、有価証券や不動産等を時価評価した資産から、ご契約にかかわる各種負債等を差し引いたものであり、保険会社の健全性の状況を示す行政監督上の指標の一つです。平成20年度末の実質純資産額は、経済環境の悪化により、有価証券の含み益は減少したものの、2兆9,035億円となり、一般勘定資産に対する比率は12.4%となっています。

実質純資産額の推移

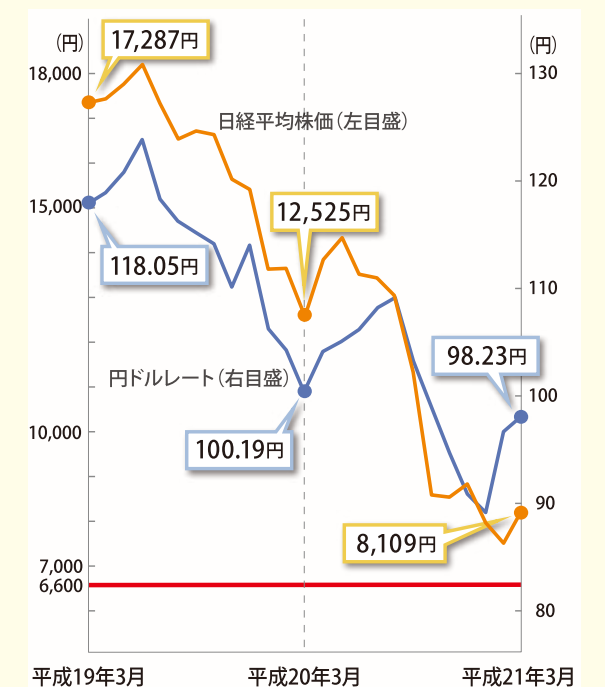


国内株式含み損益ゼロ水準は 日経平均株価で6,600円程度

平成18年度末以降の株式市場は、日経平均株価が一時18,000円を超える場面もありましたが、米国をはじめとした経済環境の悪化とともに平成20年度末には8,109円となるなど、低迷が続いています。為替相場は、円高が加速し、一時1ドル90円を割り込みました。

このような厳しい環境下において、有価証券等の含み益は減少したものの、ソルベンシー・マージン比率は1,000%以上、実質純資産額は約3兆円の水準を確保しています。また、平成20年度末における当社が保有する株式の含み損益がゼロとなる水準は、日経平均株価で6,600円程度まで低下しています。

日経平均株価・円ドルレートの推移



高度なリスク管理により、さらなる資産 健全性の維持・向上に努めています。

自己資本等の充実

内部留保等 **1兆1,602億円**
追加責任準備金 **4,873億円**

さまざまなリスクに対応できる
財務基盤の構築に取り組んでいます。

健全性の高い経営基盤を構築するため、通常想定できる範囲を超えた保険金の支払いや大幅な運用環境の悪化等に備え、危険準備金・価格変動準備金等の内部留保の積増し等により自己資本等の充実に努めてきました。

平成20年度は、世界的な金融危機に端を発した経済環境の大幅な悪化に伴い、多額の有価証券評価損を計上しましたが、こうした状況に備え積み立ててきた、危険準備金・価格変動準備金を合計で2,934億円活用しています。

一方では、平成19年度より計画的に積増しを実施している追加責任準備金について、1,194億円の積立てを実施しており、その結果、内部留保等と追加責任準備金の合計金額は、1兆6,475億円となっています。今後も追加積立を計画的に行なうとともに、活用した財務基盤を早期に回復し、健全性の高い経営基盤を構築するため、取り組んでいきます。

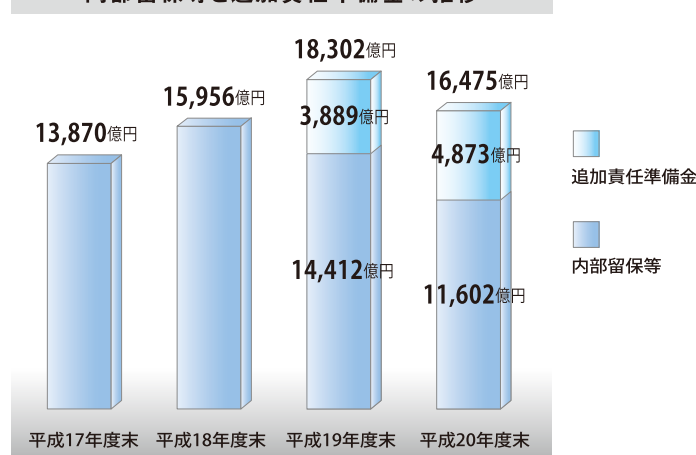
*内部留保等とは

通常想定できる範囲を超えたさまざまなリスクに対応するための資金の性格を有しているものであり、当社においては、基金、基金償却積立金、価格変動準備金、危険準備金等で構成されています。

*追加責任準備金とは

平成8年4月1日以前にご契約いただいた個人年金保険を対象に、予定利率2.75%を用いて責任準備金を計算して生じた差額を、段階的に積み立てているものです。なお、平成22年度以降も新たに年金支払を開始するご契約については、年金開始部分につき、年金開始の都度対応します。

内部留保等と追加責任準備金の推移



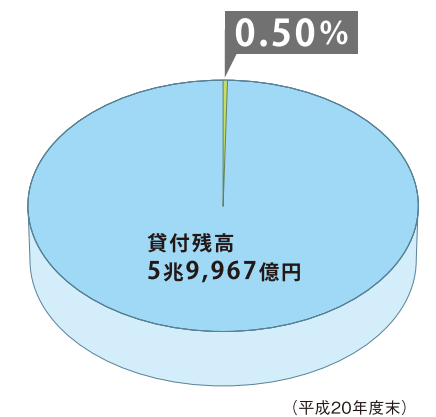
リスク管理債権

0.50% (リスク管理債権額の貸付残高に対する比率)

厳正な自己査定を実施し
資産内容の健全性を堅持しています。

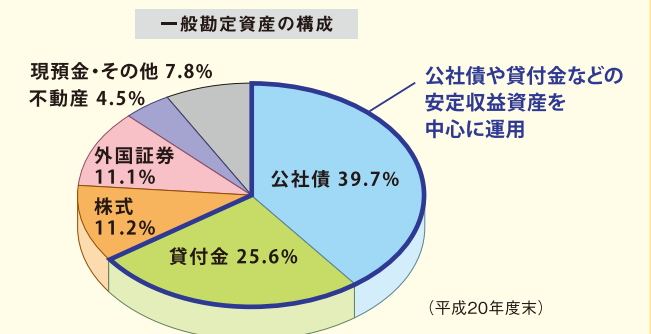
リスク管理債権とは、貸付金のうち、返済状況が正常でない債権を「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分した総称です。

平成20年度末のリスク管理債権額は302億円、貸付残高に対する比率は0.50%となっています。



資産の構成

安定収益資産を中心とした
堅実な運用をしています。



格付

健全な財務内容で、格付会社から
高い評価を得ています。

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表わしたものです。

格付投資情報センター (R&I)	保険金支払能力格付け	A+
日本格付研究所 (JCR)	保険金支払能力格付け	A+
スタンダード&プアーズ (S&P)	保険財務力格付け	A-
フィッチ・レーティングス	保険会社財務格付	A
AMベスト社	保険財務力格付け	A (Excellent)

(平成21年5月8日時点)

*「保険金支払能力格付け」(R&I)は、保険会社の保険債務が約定通り支払われる確実性についての意見です。「保険財務力格付け」(S&P)は、保険契約の諸条件に従って支払いを行なう能力に関して保険会社の財務内容を評価した意見です。「保険会社財務格付」は、保険会社の財務力についての評価を表わすもので、保険契約者債務にかかる保険会社の支払能力に対して付与されます。

*上記の格付は、当社が依頼して取得したものです。

*格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません。

*格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

みなさまにご支持いただき、2年連続の増収となりました。

保険料等収入

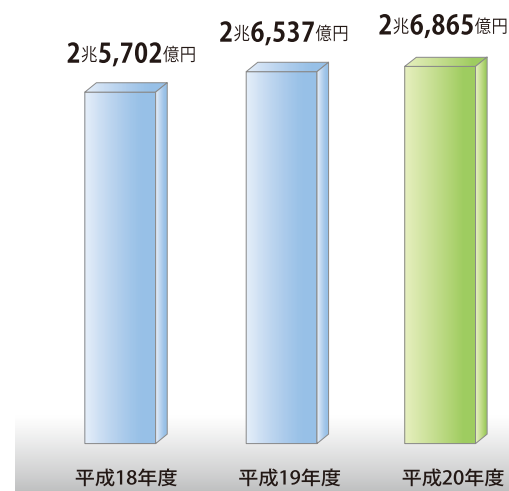
2兆6,865億円

さらなるお客さま満足度の
向上に取り組み
安定した成長をめざします。

保険料等収入とは、ご契約者から払い込まれた保険料による収益で、生命保険会社の収益の大部分を占めています。

平成20年度の保険料等収入は2兆6,865億円と2年連続の増収となりました。これからもいっそうお客さまにご満足いただける取組みに努め、安定した成長をめざします。

保険料等収入の推移

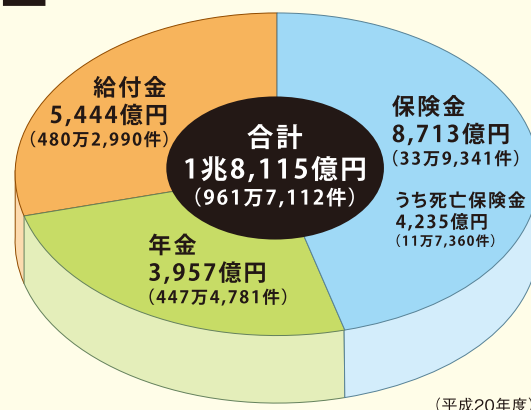


お役に立った保険金・年金・給付金

1兆8,115億円

平成20年度にお支払いした保険金・年金・給付金の合計額は1兆8,115億円でした(1日あたりのお支払いは約2万6千件、約49億円)。これからも確実・迅速なお支払いに努め、お客さまに確かな安心をお届けします。

*給付金には、入院給付金・手術給付金のほか、ハッピーL.A.ボーナスやお祝金なども含めています。



当社では、お支払いもれやご請求案内もれのない、支払管理態勢を構築し、確かなお支払いに取り組んでいます。詳細については当社ホームページをご覧ください。

明治安田生命保険相互会社ホームページ <http://www.meijiyasuda.co.jp/>

基礎利益

3,293億円

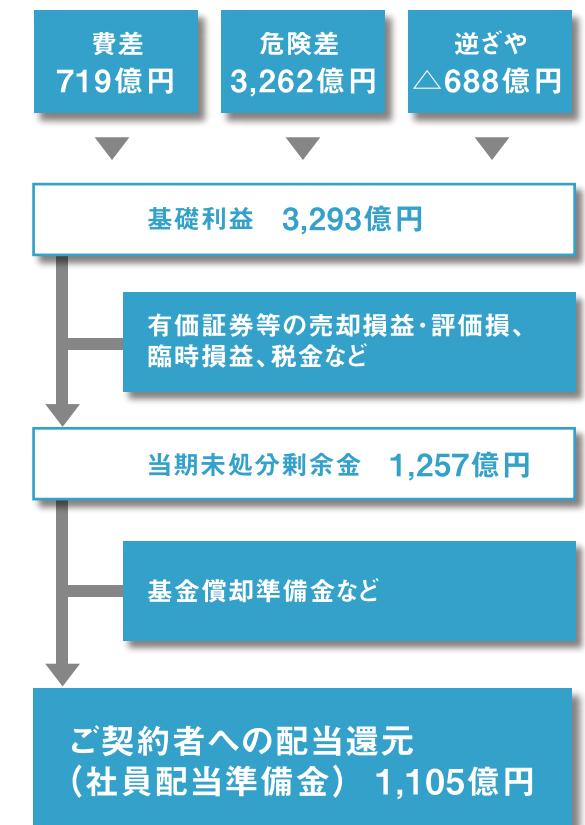
厳しい経済環境のなかでは
ありましたが、基礎利益は
3,293億円となりました。

基礎利益とは、保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息及び配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を表わす指標です。

平成20年度の基礎利益は、厳しい経済環境のなかではありましたが、3,293億円となりました。なお、基礎利益から、有価証券等の売却損益・評価損や、保険財務健全化のための臨時的な費用、税金などを加減した当期末処分剰余金は1,257億円となりました。平成21年7月の総代会決議を経て、平成20年度決算に基づく当期末処分剰余金1,257億円のうち、1,105億円*を社員配当準備金として繰り入れます。

*法定の剰余金処分対象額に占める割合は101.61%です。

三利源とご契約者への
配当還元までの流れ



基礎利益の内訳

(単位:億円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
基礎利益	4,582	4,158	3,293
費差	1,362	1,044	719
危険差	4,054	3,681	3,262
逆ざや	△833	△567	△688

費差

保険料算定時に想定した事業費率に基づく事業費支出予定額と実際の事業費支出との差額

危険差

保険料算定時に想定した保険事故発生率に基づく保険金・給付金等支払予定額と実際の保険金・給付金等支払額との差額

逆ざや

保険料算定時に想定した利率に基づく予定運用収益と実際の運用収益との差額